

いしかわみんぶかんけいもんじょ
「石川民部関係文書」

松伏町指定有形文化財（古文書・典籍・書跡）
昭和50年6月1日指定

豪農石川民部家の出自は不詳ですが、戦国時代に帰農し土着した武士と伝えられています。石川家の当主は民部の名を世襲し、江戸時代初期に松伏領の大開墾事業を行ったほか、菩提寺の静栖寺（田中）を本寺として23ヶ寺にのぼる末寺、門徒寺院を整備しました。松伏領の発展に大きく寄与した石川家の事績を伝える貴重な古文書群です。